

# 「Machida Weekend STREET 原町田中央通り社会実験2022」の開催結果について

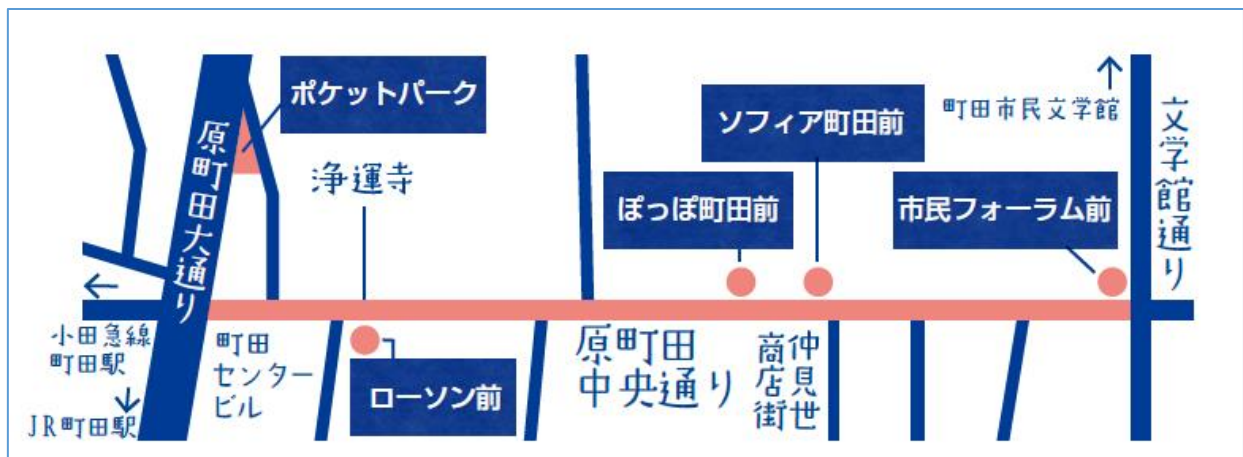
## ＜社会実験の目的＞

原町田中央通りは、「町田市中心市街地まちづくり計画(2016年)」に掲げる「個性と魅力あふれる商店街づくりプロジェクト」の先行地区として、無電柱化事業の実施に併せて沿道空間を活用した通りの魅力づくりに取り組んでいます。

日常的に沿道空間を活用できる仕組みや体制を検証するため、社会実験を実施しました。

## ＜社会実験の概要＞

- ◆ 実施期間 2022年10月8日(土)～11月6日(日)の金・土・日曜日・祝日
- ◆ 実施時間 午前11時～午後7時
- ◆ 実施場所 原町田中央通り(原町田大通り～文学館通りの区間)の沿道空間(店先)
- ◆ 実施内容 下記のエリアで出店募集を行い、店頭販売やワークショップ等の日替わり出店を実施。  
(ローソン前、ぼっぼ町田前、ソフィア町田前、市民フォーラム前)  
10月8日、9日、21日、30日、11月4日の5日間は、町田大道芸、町田ハロウィン、まちだ酉の市等の商店会のイベント等とあわせてイベント企画を実施。(休憩スペースも設置)



## ＜社会実験の様子＞

### ◆日替わり出店の様子

沿道空間を貸し出すことにより、物品販売、飲食物販売、体験・ワークショップ、企業PR等様々な利用がありました。

【参加状況】 57出店者、110出店(内、20 出店が雨天、強風等によるキャンセル)

#### 物品販売



#### 飲食物販売



#### 体験・ワークショップ



#### 企業PR



### ◆イベント企画の様子

沿道店舗にもイベント企画に参加いただきました。

#### 沿道店舗の様子

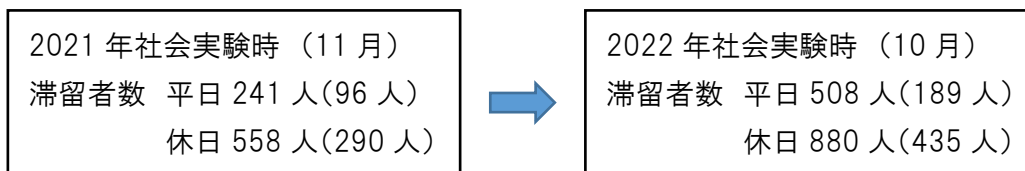


## <検証結果>

社会実験を実施したことで、原町田中央通りにおいて、滞留している人や買い物・遊び等をして楽しむ様子の人が増加し、通りの賑わいが創出されていました。また、アンケート結果では、沿道空間活用について高いニーズがあることを確認することができました。

### ○歩行者滞留行動調査

社会実験エリアにおける歩行者滞留行動調査を行いました。



(( ))は行動調査の結果、買い物・遊び等をして楽しむ様子の人

昨年度の歩行者滞留調査時と比較して、沿道の滞留者や楽しむ様子の人が増加傾向にあることが分かりました。

### ○アンケート調査

沿道空間を活用することの効果を検証するため、社会実験中の①来街者、②出店者（沿道空間の貸出による日替わりの出店者）、③沿道店舗（イベント企画の参加者・周知等の協力者）にアンケート調査を行いました。

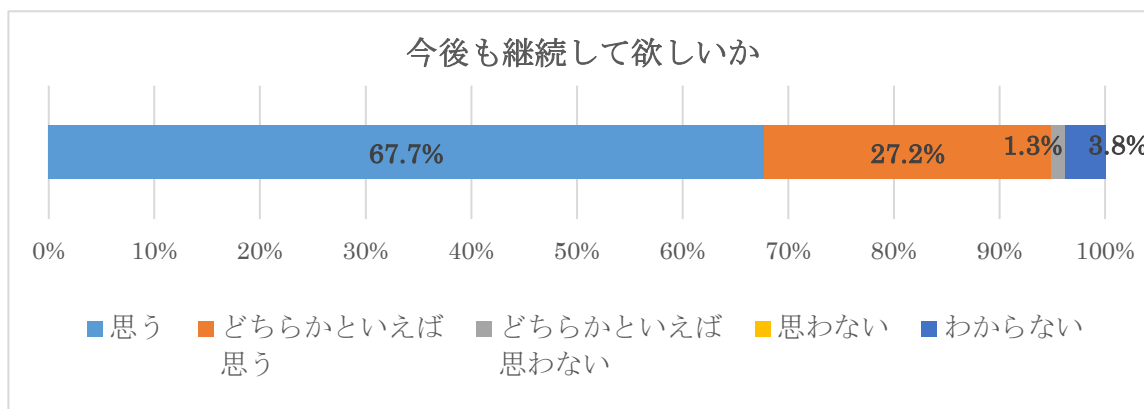
【回答数】 来街者：158件、出店者：40件、沿道店舗：32件

#### 【①来街者アンケート】

来街者からは、沿道空間を活用する取り組みに対して高い評価が得られました。

通りの人通りが多くなった、イベントが企画され活気づいた、賑やかになった等の声が寄せられました。

全体の9割以上の方から、今後の継続性について肯定的な回答をいただきました。

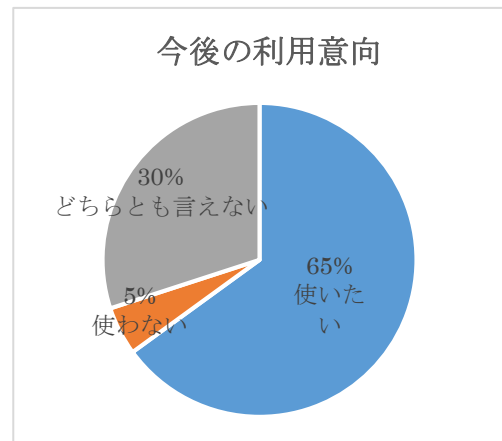




## 【②出店者アンケート】

沿道空間を利用した出店者からは、また使いたいとの声が多く寄せられました。

全体の6割以上の方からまた使いたいとの回答をいただきました。使いたくないと回答した人は1割未満でした。使いたい理由としては、人通りが多く集客が見込める点や出店者間での交流やたくさんのお客さんと触れ合える等のコミュニケーションへの魅力が挙げられました。使いたくない理由としては、ビル風や天候に影響されることや、車の通行が怖い等の意見が挙げられました。その他、課題として、月一回程度の開催等、開催頻度を高くすることで、地元への定着、認知度も上がるのではとの声も挙げられました。



## 【③沿道店舗アンケート】

### ◆店舗への影響について

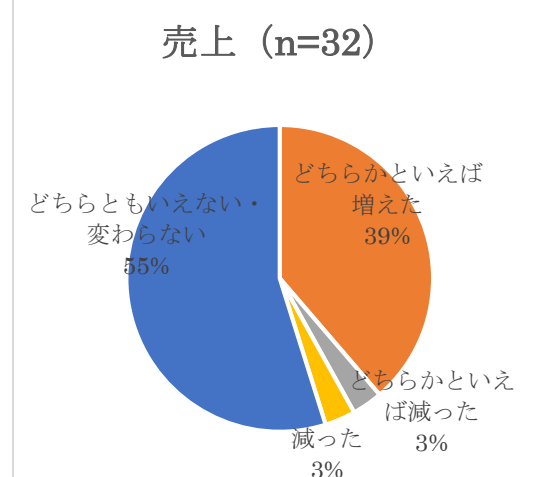
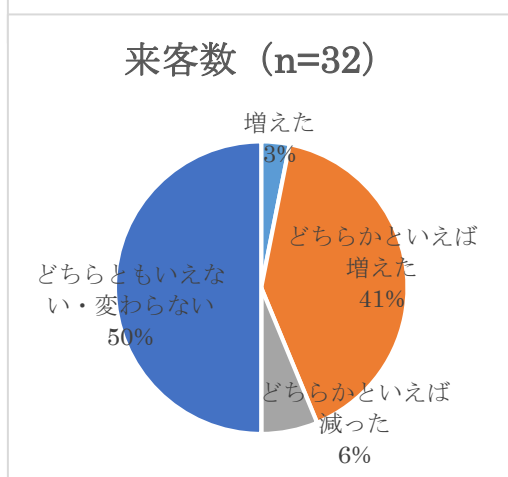
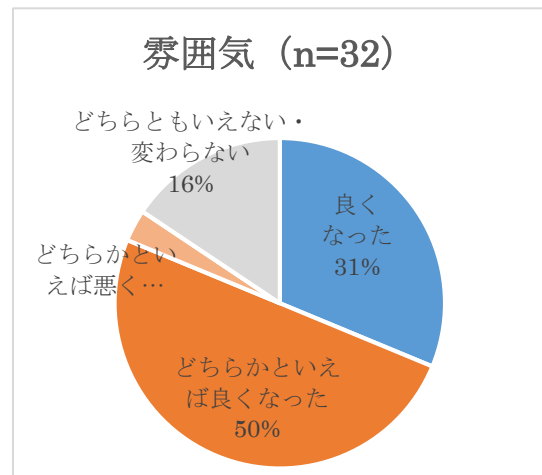
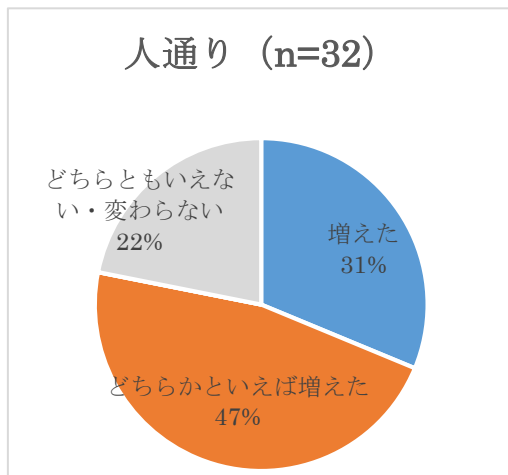
沿道店舗からは、人通りが増えた、通りの雰囲気良かったとの声が多く寄せられました。

一方、来客数や売上については、どちらともいえない・変わらないの回答が約半数でした。

回答者全体の約8割が、人通りが増えた、どちらかといえば増えたと回答いただきました。

通りの雰囲気についても、8割以上が、雰囲気が良かった、どちらかといえば良かったと回答いただきました。

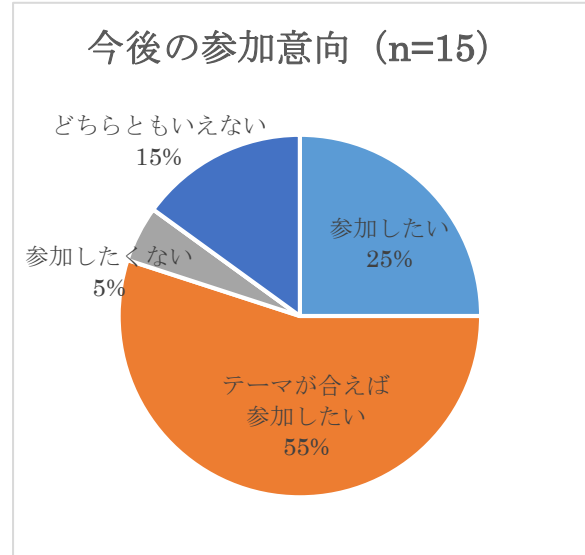
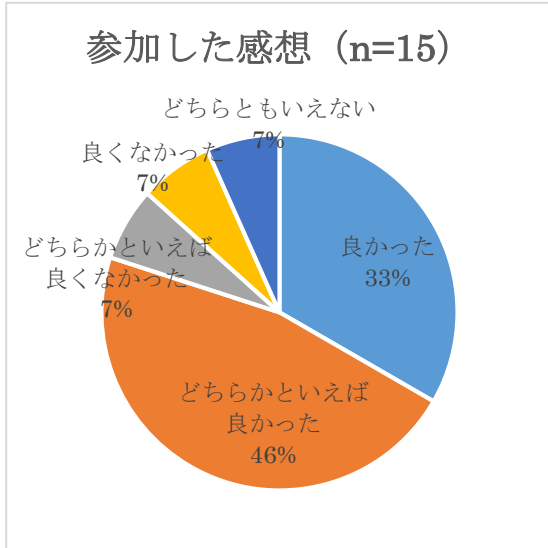
来客数、売上については、回答者全体の約4割が、来客数、売上が増えた、どちらかといえば増えたと回答いただきました。どちらともいえない・変わらないの回答数が約半数でした。



◆イベント企画について

イベント企画への参加者からは、参加して良かった、また参加したいとの声が多く寄せられました。

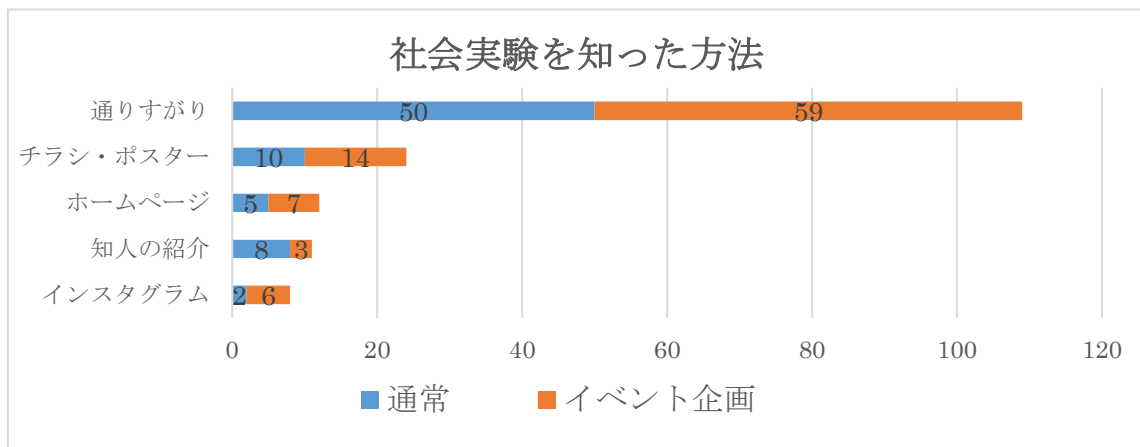
社会実験のイベント企画に参加いただいた沿道の15店舗の内、8割から肯定的な回答をいただきました。今後の参加意向についても、テーマが合えば参加したいも含めると8割から肯定的な回答をいただきました。また、改善点として、イベントの周知、出店者と周辺店舗も含めた活気づくり等が必要という回答をいただきました。



【今後の課題について】

取り組みの認知度不足が今後の課題として挙げられました。

来街者、第三者利用の出店者、沿道店舗の参加者全てに共通して挙げられた改善点が、取り組みの認知度の低さでした。来街者アンケートでも、社会実験を知った方法の7割が「通りすがり」との回答でした。取り組みが定着していくために、定期的で開催した方がよいという回答を複数いただきました。



## <今後の予定等>

### ○「沿道空間貸出運用ルール」の作成

今回の社会実験の結果を踏まえ、2022年度(今年度内)に、沿道空間をつかいたい人へ貸し出す体制や仕組み、利用時のルール等を示した「運用ルール」を作成します。

### ○実行委員会の発足

上記の「運用ルール」に基づく沿道空間貸出の運営や沿道店舗も一体となったイベント等の企画運営を行うための実行委員会(商店会、沿道店舗、(株)町田まちづくり公社、町田市等で構成予定)を2023年度に発足して、社会実験等を運営します。

### ○社会実験の定期開催

2021年度は11月～12月、2022年度は10月～11月に社会実験を開催しましたが、取り組みが定着していくことを目指し、2023年度は社会実験を定期的で開催する予定です。

月の最終週の金・土・日曜日の開催を予定しています。(2023年度は5月、7月、9月、10月、11月、12月、1月開催予定。)

## <その他>

### 【休憩スペースについて】

イベント企画を行った5日間は、協力いただいた沿道店舗の沿道空間を誰でも利用できる休憩スペースとして、イス、テーブルを設置し、たくさんの方にご利用いただきました。

#### ◆休憩スペースの様子

